

〔新〕 再構築クイックプラン

～ 老朽施設の速やかな改善 ～

〈道路陥没、臭気発生などへの緊急対策〉



東京都下水道局

まえがき

明治時代に始まった区部の下水道事業は、平成 6 年度末に 100%普及概成し、都市の衛生環境や水環境の改善に貢献してきました。

しかし、今日では経年変化により老朽化が進んでおり、下水道管きょが原因の道路陥没が年間 1,000 件以上発生するなどの問題が生じています。また、都市化の進展に伴う雨水流出量の増加により、下水道管きょの流下能力が不足し、浸水被害も起きています。

このため、下水道局では、**老朽化対策に併せて能力不足の解消などを図る再構築事業**を、平成 7 年度から本格的に進めてきましたが、平成 15 年度末までの進捗率は 8%に留まっています。

これは、再構築事業が、下流側のポンプ所や下水道幹線の能力向上を行ったうえで、面的に枝線管きょの再構築を実施することにより効果が出るものであり、完成までに長い年月と多大な費用が必要となるからです。

このような状況を踏まえ、平成 12 年度からは、都民生活に直接影響する道路陥没、臭気及び震災対策について、優先度の高い地区や対策を重点化した「再構築クイックプラン」を策定し、実施してきました。

今回、これまでのクイックプランの対策を検証した結果、道路陥没の減少などの効果を確認することができました。このことを踏まえ、「新・再構築クイックプラン」として改定、充実することとしました。新クイックプランでは、道路陥没多発地区において、能力不足の解消などを図る再構築に加え、段階的に再構築を進める「老朽化対策先行整備」を拡大して実施していきます。また、道路陥没の発生原因の多くを占める取付管の対策を新たに計画化するなど、原因を特定し集中的に実施する対策を導入することとしました。

今後とも、中長期的な視点から、再構築事業を推進していくとともに、新・再構築クイックプランを実施することにより、安全で快適な東京の実現に取り組んでいきます。

目次

第1章 新クイックプランの概要

1 基本方針	2
2 改定のポイント	4
3 計画期間	7
4 計画事業費	7

第2章 現状と課題

1 下水道管さよの老朽化	10
2 臭気の発生	16
3 震災対策	17
4 これまでのクイックプランの効果	18

第3章 事業内容

1 道路陥没対策	26
2 臭気対策	36
3 震災対策	40

第4章 事業の効果的な推進に向けて

1 関係機関との連携	42
2 お客さまへの広報活動	43
3 新技術の開発・導入	44
4 大量排水者指導制度の規制緩和	45

※ 本文中、「再構築クイックプラン」及び「これまでのクイックプラン」は、平成12年度に策定したクイックプランを指す。
「新クイックプラン」及び「新・再構築クイックプラン」は、今回策定したクイックプランを指す。